

平成30年度第6回岐阜県事業評価監視委員会

議事要旨

1. 日時：平成31年1月29日（火）9：00～11：00

2. 場所：岐阜県庁 7階 7北1会議室

3. 出席委員：岐阜大学 教授 工学部	八嶋 厚
岐阜工業高等専門学校 准教授 環境都市工学科	水野 剛規
岐阜大学 教授 地域科学部	三井 栄
郡上森林組合 代表理事組合長	石田 五秀
岐阜商工会議所 副会頭	高橋 泰之
岐阜県商工会女性部連合会 副会長	馬淵 ひとみ
岐阜県弁護士会 弁護士	福手 朋子
岐阜県地域女性団体協議会 副会長	河野 美佐子
公募 NPO法人WOOD AC 理事	塩田 佳子
公募 会社員	水谷 有香
公募 会社員	森下 智代巳

4. 議事要旨署名委員の指名について

委員長が署名委員として河野委員、塩田委員、三井委員を指名。

5. 議事

再評価実施箇所の説明及び審議について

①農業農村整備事業：経営体育成基盤整備事業「午北」〔県事業〕

②都市再生・地域再生事業：景観まちづくり刷新支援事業

「高山市景観まちづくり刷新モデル地区」〔市町村等事業〕

事後評価実施箇所の説明及び審議について

①治山事業：地域防災対策総合治山事業「畦畑」〔県事業〕

②道路事業：道路改築事業「(主)多治見白川線 伊岐津志工区」〔県事業〕

③砂防事業：地すべり対策事業「南垣外」〔県事業〕

社会資本総合整備計画評価の説明及び審議について

①道路建設課：東海環状自動車道と連携した地域の基幹ネットワークの形成
〔県計画〕

②道路建設課・道路維持課：社会インフラが災害に強く、安全に利用できる岐阜
県づくり(防災・安全)〔県計画〕

③下水道課：木曾川右岸流域における水循環のみちの実現〔県計画〕

6. 議事要旨

○平成30年度再評価実施箇所の追加について

事務局より、再評価審議箇所の追加について説明。

【質疑・意見】

特になし

【審議結果】

景観まちづくり刷新支援事業 高山市景観まちづくり刷新モデル地区を追加し、計24箇所（県事業21箇所・市町村事業2箇所・その他事業1箇所）について再評価の審議を行う。

○再評価実施箇所の説明及び審議について

①農業農村整備事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：経営体育成基盤整備事業「午北」
- ・説明者：農地整備課 西村課長

【審議】

高橋委員

何名が未同意なのか。

八嶋委員長

4名となっています。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「中止」を了承する。

②都市再生・地域再生事業〔事業主体：高山市景観まちづくり刷新協議会〕

- ・審議事業：景観まちづくり刷新支援事業
「高山市景観まちづくり刷新モデル地区」
- ・説明者：高山市都市計画課 尾前課長
(高山市景観まちづくり刷新協議会事務局)

【審議】

石田委員

ビルの塗り替え事業は100%高山市の経費負担ですか。個人負担はありますか。

説明者（尾前課長）

個人負担はなく、国の補助金が2分の1、高山市が2分の1で事業を実施しています。

高橋委員

ビルの色は高山市が決めたのですか。

説明者（尾前課長）

高山市では景観計画を定めており、そこで色彩の基準を定めています。建物については平成28年に色の基準を見直したため、不適格となった建物を対象としています。

高橋委員

公衆トイレの状況はどうですか。

説明者（尾前課長）

高山市は歩く観光客の方が多いので、市街地での公衆トイレの整備をこれまでも進めており、バリアフリーの対応も進めています。

三井委員

地元住民及び観光客の意向でアンケート調査を行っていますが、サンプル数と調査期間、調査項目を教えてください。

説明者（尾前課長）

アンケート調査については、昨年8月に実施しており、観光客の回答数は400人です。調査項目については「事業を進めていくことについてどのように考えていますか」「高山市に観光で訪れた回数」「今後5年間で何回訪れたいか」などです。

三井委員

事業に関する質問は、「事業をすすめていくべきか」という1項目ですか。

説明者（尾前課長）

そうです。

地元住民に対しては7月から8月の間に、この事業に世帯として年間支払って

もよいと考える上限額、整備についての支払い意思額についてアンケートを行っています。1000世帯に無作為の調査を行い、有効回答数は320世帯です。また事業に関して具体的には「駅前、歩行者軸、宮川河川軸の景観整備について行っていくべきかどうか」と質問しています。

三井委員

事業については3項目についての質問のみで、全体については質問していませんか。

説明者（尾前課長）

全体的な取り組みに関する質問項目は、自由意見の項目として設けており、事業全体に関する質問は特になく、細かく3項目で質問しています。

高橋委員

高山市は観光の核になっているので、ぜひ事業を推進していただくとともに、3～4年で計画の見直しをしながら飽きられないよう整備をしていただきたい。

八嶋委員長

高山市の第8次総合計画は何年から何年までの計画ですか。

説明者（尾前課長）

平成27年～36年の10年計画となっており、来年度で前期が終了しますので来年度見直しを行います。

八嶋委員長

国交省が公募された景観刷新モデル地区の応募数と採択数は、いくつですか。

説明者（尾前課長）

全国で100地区以上の申請があり、うち10地区が採択されています。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

○事後評価実施箇所の説明及び審議について

①治山事業〔事業主体：岐阜県〕

・審議事業：地域防災対策総合治山事業「畦畑」

・説明者：治山課 田中課長

【審議】

高橋委員

ハザードマップは作っていますか。

説明者（田中課長）

治山事業としては作っていません。

高橋委員

地元の方には、危険性を認識することで治山事業に理解を得られるのではないかと。

説明者（田中課長）

砂防事業では作成しており、危険性については対応しています。

高橋委員

ハザードマップなどを広げていくことは理解を得られるチャンスだと思う。

八嶋委員長

砂防課が基礎調査で作成したハザードマップについては、飛騨市が住民に対し公表されていると思うが、砂防と治山の違いについて住民が理解しているかどうか分からないと思う。治山課では年齢別の認知度を分析しているが、砂防と治山の違いは専門家でも難しく、現場でも住民の方はこちらの施設か分からないのではないのでしょうか。対応方針（案）にPR活動について提案されていますが、砂防としてハザードマップによる危険性、治山として山を守ることが最終的に下流の人家なども保全していることを、うまく整理してPR活動を進め

てほしい。

説明者（田中課長）

砂防、治山については類似し分かりづらい点があると思います。現在治山事業に関するパンフレットを作成しているので、これを活用して皆様に理解してもらおうよう進めていきます。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）のとおり了承する。

②道路事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：道路改築事業「主要地方道 多治見白川線 伊岐津志工区」
- ・説明者：道路建設課 藤井課長

【審議】

石田委員

事業期間が長いですが、トンネル工事は何年ぐらいかかったのですか。

説明者（藤井課長）

トンネル工事は5年で、事業期間は土地取得に時間を要したため長くなっています。

水野委員

この事業により交通量はどれぐらい増えたのですか。

説明者（藤井課長）

交通量調査では約4000台/日です。交通量は開通前後で同じぐらいですが、この台数が安全に早く通行できるようになったと考えています。計画交通量は4600台/日です。

水谷委員

利用者のアンケートで自動車の運転等に関する結果はあるが、歩行者や自転車に対する結果はありますか。

説明者（藤井課長）

アンケートには利用者の区分はありませんが、この道は通学で利用されており、歩道が設置されたことで旧道より安全に通れるようになったと聞いています。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）のとおり了承する。

③砂防事業〔事業主体：岐阜県〕

- ・審議事業：地すべり対策事業「南垣外」
- ・説明者：砂防課 広瀬課長

【審議】

高橋委員

平面図の茶色の範囲は全て地すべりの可能性があるのですか。また、対策範囲は平面図の左側だけですか。

説明者（広瀬課長）

赤い破線で示した範囲が地すべりの範囲です。この範囲に対して、頭部排土工と押え盛土工を実施しました。

水野委員

地すべりが起こらなくなったという判断は、変位量などで判断しているのですか。

説明者（広瀬課長）

地中の変動を観測する計器を設置しており、地すべり変動が顕著になった平成16年度の豪雨と同程度の降雨を経験しても変動が観測されなかったことを受け、概成と判断しました。

水野委員

地すべり対策として十分な効果が発揮されているということを確認されているわけですね。

高橋委員

すべり面としては具体的にはどういう土質ですか。

説明者（広瀬課長）

本箇所においては、亜炭層が存在しており、過去の地すべり活動や採掘などによって亜炭層の強度が低下し、その上の土塊の全体の重量に耐えられなくなり、地すべりが発生しました。また、亜炭層が移動する境になっていたことをボーリング調査や観測結果で確認しました。

高橋委員

東濃は湿地が多く、その成因は土岐砂礫層が「水みち」となっているのが関係するのでは。

説明者（広瀬課長）

土岐砂礫層は水が浸透しますが、下に位置する亜炭層は水を通しにくく、そのため、地中の地下水位が上がりやすい状況ができ、土塊が地下水によって浮きやすくなり、全体のバランスを崩し移動してしまうこととなりました。よって、地下水位を下げる対策として排水ボーリングを行い、土塊の重量バランスを取るために、頭部排土と押え盛土を行いました。

高橋委員

東濃地域は地すべりが多いのですか。

説明者（広瀬課長）

東濃地域は県下でも地すべり危険箇所が多い地域です。これは地質や地層による影響が大きいと考えられます。

馬淵委員

アンケート結果の回答で、「普通」という回答はどのように理解すればよいのですか。

説明者（広瀬課長）

良いとも悪いとも決めかねるという方が、中間の選択肢である「ふつう」を選択されたと思われれます。

【審議結果】

事業主体の対応方針（案）のとおり了承する。

○社会資本総合整備計画評価の説明及び審議について

①東海環状自動車道と連携した地域の基幹ネットワークの形成

[計画主体：岐阜県]

・説明者：道路建設課 藤井課長

【審議】

福手委員

計画の成果目標の実現状況について、年度別立地件数で平成24年度以前はどれぐらい工場が建っていましたか。

説明者（藤井課長）

各年度違いますが、平成18年度から23年度まで毎年30件程度立地されています。東海環状自動車道東回り区間になる東濃地方では工業団地造成が多くなされていましたが、今回の成果目標では、平成23年に西回り区間でそれぞれの市町が工場を誘致する可能性のある箇所をカウントしています。計画後、

各市町が工場を意欲的に誘致した結果、大幅に企業の進出がなされています。

高橋委員

毎年30件工場立地がされているのに、目標を13件とした理由はなんですか。

説明者（藤井課長）

目標は、西回り区間において各市町が企業を誘致する区画数から算出しており、計画時点では13件ぐらいしかありませんでした。その後、各市町が工場地を造成したことや企業が用地を見つけて立地したなど努力されたことから、実績値が大きく目標値を上回った結果となっています。

石田委員

立地件数のほかに、工場の規模としてはどのような状況ですか。

説明者（藤井課長）

土地面積が1ha未満の工場が多く、5ha以上の工場は少ない状況です。

【審議結果】

計画主体の今後の対応方針（案）を了承する。

②社会インフラが災害に強く、安全に利用できる岐阜県づくり（防災・安全）

〔計画主体：岐阜県〕

・説明者：道路維持課 奥田課長

【審議】

高橋委員

岐阜県はこの事業については、他都道府県より進んでいると思っていますが、100%ではないので今後も進めてほしい。

水野委員

全体事業費の大半は耐震補強費だと思いますが、全体事業費581億円、総事業数264事業のうち81事業が完了しており、大半の橋梁補修は完了したと思いますが、残りの事業は何を整備するのですか。

説明者（奥田課長）

264事業のうち多いのは歩道整備が106事業となっており、内訳としては歩道整備完了が31事業、継続75事業となっています。そのほか橋梁補修、落石対策等で継続事業数が多いのはカウントの方法に理由があり、歩道は箇所数でカウントしていますが、橋梁耐震、落石対策等は1路線で1事業とカウントするため路線内に何箇所も事業がある場合、1つでも残っていると未完了となるので、継続事業が多くなっています。

水野委員

耐震補強を実施した事業はあるけれど、同一路線内にまだ継続事業が残っているということですか。

説明者（奥田課長）

まだ継続事業は残っています。

【審議結果】

計画主体の今後の対応方針（案）を了承する。

③木曾川右岸流域における水循環の道の実現〔計画主体：岐阜県〕

・説明者：下水道課 鷺野課長

【審議】

石田委員

現在介護オムツ、子供用オムツについて問題になっていますが、下水道では処理が出来るようになっていませんか。

説明者（鷺野課長）

下水道での処理は困難です。今、国土交通省では将来的にオムツを粉碎し流せるように出来ないかを実験している段階だと聞いています。

高橋委員

24池とは、図面の赤い範囲に24個の池があるということですか。

説明者（鷺野課長）

24番目の池ということです。

高橋委員

管路も増えているのですか。

説明者（鷺野課長）

県は幹線整備を行っており既に終わっています。面整備の方は市町村で行っています。

高橋委員

水処理施設はどれぐらい増設が可能ですか。

説明者（鷺野課長）

27池まで可能ですが、全体計画の見直しで人口の伸び等を考慮しながら検証していきます。

【審議結果】

計画主体の今後の対応方針（案）を了承する。